



最先端医療と東洋医学による未妊サポート情報

No. 7
平成25年10月発行:足立病院生殖内分泌医療センター
〒604-0837 京都市中京区東洞院通(間之町)二条下ル
TEL 075-221-7431
e-mail mail@adachi-hospital.or.jp
http://www.adachi-hospital.com

妊娠に年齢的な限界はあるのでしょうか。実際、私はその問い合わせに答えることはできません。不妊治療を行っているとびっくりするようなことがよく起ることです。確かにすることは体にいいことは妊娠するにもいいということ。卵巣や子宮の妊娠力をどう保つかが大事なのです。

卵巣の妊娠能力を高める 年々女性の体が若くなっている?

長く不妊治療に携わっていると普通では考えられないことがあります。47歳で妊娠されたり、閉経して卵ができるのが半年後にまた卵ができるなど、何があるかわからな。当院の統計では妊娠率は44歳までそれほど変わらないです。ところが45歳になると途端に下がる。けれど10~15年前は35歳といわれていたんです。44歳なんてと

最近、AMH(アンチリード)
体が老化していたら
当然卵巣も老化する

年々女性の体が若くなっている? でも考えられませんでした。医療技術の進歩というのもあるでしょうが、実は女性がどんどん若くなっているのも原因だと思います。45歳でもすぐ若く見える。60歳といったて二昔前のイメージと全然違いますからね。だから何歳が限界とは概に言えません。

45歳で妊娠されたり、閉経して卵ができるのが半年後にまた卵ができるなど、何があるかわからな。当院の統計では妊娠率は44歳までそれほど変わらないです。ところが45歳になると途端に下がる。けれど10~15年前は35歳といわれていたんです。44歳なんてと

逆に40歳を超えていても卵巣がしっかり大きく、卵胞がちゃんとあれば大丈夫、その場で妊娠は可能と伝える場合もあります。卵巣も子宮も若さというよりその人のトータルな妊娠能力なんでしょう。あと卵管がきちんと通っているかも大切です。よその病院で何回も体外受精を試み、当院でもダメ、でもうとうしようもない。そしたら卵管と子宮をきれいに洗って自然妊娠を試みたら妊娠されたという例も数多くあります。そういうメンテナンスも必要ですね。

■診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
・午前10時~12時	●	●	●	●	●	●
・午後3時~7時	●	●	●	●	●	×

<休診日> 日曜日・祝日、土曜日は午後1時受付修了

■治療費 初診料 2,100円(初回のみ) 施術費 6,300円(税込)



◆東洋医学による不妊治療専門院
烏丸御池鍼灸院

京都市中京区御池通烏丸東入ル 仲保利町185
(時事プレス京都ビル4F) ●地下鉄烏丸御池駅1番出口すぐ

TEL 075-241-2101

■ http://www.karasumaoike.com/
■ E-mail: info@karasumaoike.com

治療改善例
1
癒しのツボを使い治療。
パニック障害を克服し、妊娠、出産。

●Mさん 45歳 ●不妊歴7年

●西洋医学的原因 甲状腺機能障害
高プロラクチン血症、卵管狭窄
抗リン脂質抗体による習慣性流産
●東洋医学的原因
瘀血(おけつ)、肝氣鬱結(かんきうつけつ)、痰湿
3歳の子供をインフルエンザで亡くし、その後パニック障害を発症。ストレス一杯の状態で来院。治療歴は人工授精5回、自然周期採卵3回、胚移植1回。流産3回。まずは、鍼灸・整体でストレスの軽減を図る。生理痛の激減と経血色がきれいになる。治療の効果が出始めた頃、自然周期採卵でスーパーライザーを1回併用し、成熟卵胞4個発育に成功。採卵までに排卵のリスクが見られたため、排卵を遅らせる鍼灸を行い無事に3個採卵し初期胚で新鮮胚を2個移植。移植直前にスーパーライザーを再度1回併用して妊娠。施術期間は9ヵ月。流産予防の鍼灸で習慣性流産を乗り越えて定期に入り事に卒業。

治療改善例
2
冷えのぼせを改善して血流アップ。
A評価の胚盤胞になる。

●Tさん 44歳 ●不妊歴3年

●西洋医学的原因 特になし
●東洋医学的原因
腎陰虚、瘀血(おけつ)、肝氣鬱結(かんきうつけつ)
治療歴は人工授精5回、自然周期の採卵2回、胚移植2回。考えられる原因是年齢による子宮と卵巣の機能低下。東洋医学的には足は冷えるが、上半身は火照る冷えのぼせタイプ。身体に熱がこもりやすい上に、ストレスで気が逆上するとさらに熱を上へと引き上げてしまう。まず、気の巡りを良くして冷えのぼせを改善し、次に身体を冷ます力をつけることが生殖器のパワーアップにもつながると診断。鍼灸治療を続け、採卵前にスーパーライザーを1回併用。3個採卵し、胚盤胞1個残る。新鮮胚移植直前にもスーパーライザーを併用して妊娠。初めての3個採卵(今まで1個)出来たこと、胚移植した受精卵がA評価だったことは、卵巣の機能がアップした証明ですね。施術期間は2ヵ月。

治療改善例
3
代謝アップで自然に減量。
受精卵のグレードも上がって妊娠。

●Uさん 42歳 ●不妊歴14年

●西洋医学的原因 多囊胞性卵巣症候群 無月経無排卵
●東洋医学的原因
瘀血(おけつ)、肝氣鬱結(かんきうつけつ)
高校生頃から生理が止まり、以降、無月経無排卵。治療歴は、採卵5回、胚移植9回。排卵誘導剤で卵胞は育つかず、発育が遅く質も良くない。鍼灸治療後、13個採卵でき、2個胚盤胞凍結。6回目の採卵で初の胚盤胞だったがグレードは1番低いE評価。胚移植はマイナス判定。代謝を上げて受精卵のグレードアップが必要だと考え、4ヵ月間鍼灸・整体で体質改善を再度行い、自然に-3kgのダイエットに成功。再度の採卵周期でスーパーライザーを3回併用し卵胞の質は向上。13個採卵、6個胚盤胞凍結。評価はB1個、C1個、D3個、E1個。B評価の胚盤胞移植前にスーパーライザー1回併用で初妊娠。施術期間は10ヵ月。



妊娠力を高める 鍼灸とスーパーライザーで妊娠された5つの治療例報告

鳥丸御池鍼灸院副院長
田内裕之

治療改善例
4
初の体外受精前に食事の見直しと体質改善で万全の準備をして妊娠。

●Gさん 40歳 ●不妊歴2年

●西洋医学的原因 特になし
●東洋医学的原因
气血両虛、痰湿
治療歴は、人工授精2回。ご本人の希望で体外受精にステップアップする前準備で来院。東洋医学的には、身体全体の冷えが大きな原因。特に足先は夏でも冷える。問診すると、朝食は洋食中心。生野菜や生フルーツなど、身体を冷やす洋食から温まる和食へと変更をお願いする。鍼灸・整体での血行改善と食事療法の両輪で準備を整え、3ヵ月後に初めての体外受精をショート法でトライ。スーパーライザーも1回併用して卵巣機能を高めた結果13個採卵、7個胚盤胞凍結。評価は全てAグレード。次周期、最初の凍結胚移植直前に1回スーパーライザーを併用して初妊娠。もしご本人が2人目を希望すれば、残った余剰胚(2年前の若い時の胚)ですぐに移植できるメリットは大きい。施術期間は4ヵ月。



妊娠しやすいからだづくりのためにスーパー・ライザー(光照射治療器)を心地よい温感とともに生体効果が期待できます。

治療改善例
5
卵巣年齢46歳以上。
子宮内膜を厚くし、8回目の胚移植で妊娠。

●Yさん 37歳 ●不妊歴10年

●西洋医学的原因
高プロラクチン血症
AMH 0.91ng/ml、着床障害
●東洋医学的原因 気血両虛、痰湿
AMHが0.91。卵巣年齢は46歳以上。卵子のストックが少なく時間との戦いと、子宮内膜が薄く着床しにくい大きな問題を抱えて来院。治療歴は、人工授精10回、採卵2回、胚盤胞移植7回。東洋医学的には全体的なパワー不足で疲れやすい、血も不足気味で子宮内膜が薄い。加えて水分代謝も悪く水太りタイプ。気の巡りを良くして、代謝アップと血行改善のため2ヶ月半の準備期間を設けてから採卵周期へ。結果は8個採卵、4個胚盤胞凍結。凍結胚移植直前にスーパー・ライザーを1回併用して妊娠。この胚移植直前の照射で、子宮の血行を促進して内膜を厚くし、副交感神経優位に導くことでリラックスして胚移植に臨めた効果は大きい。施術期間は4ヵ月。

不妊治療と食生活の関係

【東洋医学的な体质改善（薬膳）を取り入れる】

体质改善に向けて運動や睡眠とともに食事は大切なポイントです。

今回は妊娠しやすい体作りのための食材やその摂り方について薬膳料理研究家の赤堀真澄先生をお招きました。ふだんにげなく食べているあるいは食べていいない食事を見直してみてください。

**睡眠、運動、そして食事。
体を整えることで
卵巣や子宮も整います**

中山貴弘先生



たらいいんですかと聞かれます。話を聞くと朝食はパン、フレッシュユサラダ、ヨーグルト、ジュースといった答えが返ってきます。これらは体にいいものなんだけど体を冷やす食材なんですね。週の半分でいいからご飯、体を温めるものを食べなさいとアドバイスしているんですが。

赤堀 すきつ腹にビール、刺身、寿司、サラダなど日本人の食文化は体を冷やすものが多いくらいです。知らず知らずのうちに体を冷やす食事をしているんですね。

大村 冷えで血の流れが滞る瘀血と呼ばれる状態になる。最近はストレスがいっぱい、きちんととした食事や睡眠がとれてない人がほとんどで「腎陰虚」の人が増えているようです。症状が混雑して、火照つて冷える深刻な状態。

それが治療をしていくと3か月で生理の血液がきれいな色になります。すると基礎体温が整いだし、から同じような悩みを持つ人の悩みを少しでも和らげることができたらと薬膳料理研究家として活動するようになったんです。

中山 不妊で悩む方の多くには、ストレスや睡眠不足など人間本来の生活リズムの乱れがあるといつていい。体の調子が整わないと母体は妊娠している場合ではないということになります。体がちゃんと妊娠の準備ができているかが大切なんです。卵子は体の一部。だから体にいいものは卵子にもいい、悪いものは卵子にも悪い。適度な運動をしているか、早寝早起きでいるか、そういうことが基本です。不摂生していれば卵子も汚い、肌も汚い。また、なぜかそのような方は口臭も強い傾向にあります。

大村 僕もそれは感じています。口臭にも5種類あり、その違いでどこが悪いのかを見極めるのですが、不妊と口臭は関係がありそうですね。

中山 体調が悪いと卵子の調子もいいわけがない。そういう意味で食べるものは運動や睡眠と同じく、治療以前の基本ですね。

大村 よく患者さんから何を食べ

**「食べる」とは生きること、
生きることが
「食べる」と心がけて**

大村賢秀先生



今食べるのが3年後、
かえってきます



赤堀真澄先生

黒砂糖、ブルーントカレーズンも黒いものに入れます。血を補いながら体を温めるのが黒いものと覚えておいてください。ちなみに赤い色は血液を増やすか血液を流す働きがあります。黄褐色はおなかを強くするものが多いです。食べたものからしっかり元気を補えるので氣を補う作用があります。白いものも体を冷やすと色はおなかを強くするものが多いです。その人に必要であれば摂るほどいい。それぞの働きがあり、大大切なのは組み合わせです。

東洋医学では血と水は氣の背中に乗つて流れると考えられています。血を流すためには氣を流さないとダメ。そこで青の食材とともに氣を流すセロリ、セリ、レモン、柚子、スダチなど香りや風味のあります。食べたものからしっかり元気を補えるので氣を補う作用があります。その人に必要であれば摂るほどいい。それぞの働きがあり、大切なのは組み合わせですよ。

大村 いくら奥さんががんばって野菜などを摂るといいですよ。東洋医学では血と水は氣の背中に乗つて流れると考えられています。血を流すためには氣を流さないとダメ。そこで青の食材とともに氣を流すセロリ、セリ、レモン、柚子、スダチなど香りや風味のある野菜などを摂るといいですよ。

東洋医学では血と水は氣の背中に乗つて流れると考えられています。血を流すためには氣を流さないとダメ。そこで青の食材とともに氣を流すセロリ、セリ、レモン、柚子、スダチなど香りや風味のある野菜などを摂るといいですよ。

黒いものに入れます。血を補いながら体を温めるのが黒いものと覚えておいてください。ちなみに赤い色は血液を増やすか血液を流す働きがあります。黄褐色はおなかを強くするものが多いです。食べたものからしっかり元気を補えるので氣を補う作用があります。白いものも体を冷やすと色はおなかを強くするものが多いです。その人に必要であれば摂るほどいい。それぞの働きがあり、大大切なのは組み合わせです。

東洋医学では血と水は氣の背中に乗つて流れると考えられています。血を流すためには氣を流さないとダメ。そこで青の食材とともに氣を流すセロリ、セリ、レモン、柚子、スダチなど香りや風味のある野菜などを摂るといいですよ。

◆足立病院生殖内分泌医療センター長
中山貴弘先生

不妊治療を手掛け20年。治療のモットーは「明確で計画的な治療」と治療に対する「情熱」。著書に妊娠成立までの話から35才を超えてからの不妊治療の進め方を書いた足立病院院長 畑山博先生との共著「35才からの妊娠」(主婦の友社)がある。

◆国際中医師 薬膳料理研究家
赤堀真澄先生

香港に7年在住、帰国後、本場でのあたりにした漢方と薬膳の知識をわかりやすく伝えるため、日々普及活動を行っている。国際中医師、中医薬膳指導士、食生活アドバイザー、アジア薬膳料理研究家ほか。著書に「漢方スタイル&薬膳テープル」(日本文学館発行)630円。

◆烏丸御池鍼灸院 院長
大村賢秀先生

40歳を過ぎて約3年におよぶ上海、サンフランシスコの留学後、足立病院不妊治療センター内の鍼灸サロンを3年担当。不妊治療専門の烏丸御池鍼灸院を開業。独自の鍼灸バランス周期療法で延べ800組以上の妊娠をサポートする。

出席者